

置賜社会教育振興大会(兼)置賜地区生涯学習ブロック大会



優良社会教育団体・職員等表彰者の皆様

11月10日(火)白鷹町中央公民館を会場に、100名を超える参加をいただき、標記大会を開催しました。

はじめに表彰式典が行われ、地域における社会教育の発展に寄与された2団体6個人(右欄参照)の皆様の表彰を行いました。

後段の研修会では、「置賜の未来を支える人材育成と組織開発」とい

うテーマのもと、会津大学短期大学部准教授 青木 孝弘氏を講師に迎え、新しい視点からの地域づくりについて、示唆に富んだ貴重なお話をいただきました。

コロナ禍で、人と人とのつながりの大切さが再確認されていますが、少子高齢化の進行、地域の人口減が課題となっている今、真の豊かさや幸せとは何か、それを地域づくりの新しい視点からどのように実現させていくかなど、参加者の皆様とともに学び合う機会となりました。

コロナ禍でも「学びを止めない」置賜の社会教育関係者の熱い思いが感じられました。



講師の青木氏(長井市出身)



優良社会教育団体・職員等表彰者

- 【米沢市】 我彦 祐子 様
(米沢鷹山大学事務局員)
- 【長井市】 東海林 和夫 様
(中央コミュニティセンター前館長)
- 【南陽市】 ひだまり 様
(梨郷小学校読み聞かせボランティア)
- 【高畠町】 富樫 とみよ 様
(屋代地区公民館前館長)
- 【川西町】 寒河江 寿樹 様
(川西町体育振興公社職員)
- 【小国町】 矢部 多圭義 様
(小国町青少年育成推進員)
- 【白鷹町】 白鷹町少年少女合唱団 様
(白鷹町青少年育成団体、社会教育振興団体)
- 【飯豊町】 関 敏美 様
(飯豊町社会教育委員)

受賞おめでとうございます!!

令和2年度 社会教育・生涯スポーツ伝達表彰式

11月24日(火)に置賜教育事務所所長室において社会教育・生涯スポーツ伝達表彰式を行いました。今年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のために各種表彰式が中止になり、置賜教育事務所長が代わりに賞状の伝達を行いました。受賞された方々は下記の通りです。おめでとうございます。

令和2年度生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣表彰)	特定非営利活動法人おぐにスポーツクラブ Y u i (小国町)
令和2年度視聴覚教育功労者表彰(全国視聴覚教育連盟表彰)	そねはら ちから 曾根原 力 様(南陽8ミリクラブ会長)
令和2年度東北地区公民館連絡協議会功労者表彰	あおやぎ ひてお 青柳 秀夫 様(米沢市上郷コミュニティセンター館長)
令和2年度優良PTA山形県教育員会表彰	米沢市立関小学校父母と教師の会 赤湯小学校父母と教職員の間

第3回放課後子ども総合プラン指導者研修会

『地域とともにある放課後子ども教室と放課後児童クラブ』～放課後子ども教室・放課後児童クラブと学校教職員との連携～

11月20日(金)に赤湯公民館において、廣瀬隆人先生をお招きして研修会を行いました。廣瀬先生はNPO法人プロジェクト宙(そら)の理事長を務めており、同法人事務局長御地合直美氏おちあひとともに、参加者から事前に寄せられた質問に答える形で研修会を進めていきました。参加者は、学校との連携のあり方を学び、今までの自分自身の振り返りができたことで「子どもたちが学童で過ごす時間を楽しく充実したものにしていきたい」という強い思いを抱いていました。



公民館・コミュニティセンター・社会教育職員等研修会

(兼) 地域とともにある学校づくり研修会(兼)社会教育有資格教員研修会

11月20日(金)に赤湯公民館にて、廣瀬隆人先生をお招きして標記の研修会を行いました。学校関係者や公民館・コミュニティセンター関係者を含む、52名の参加があり、「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進」について、理解を深めました。特に「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は地域づくりにある。」という廣瀬先生の言葉に触れて、何のためにコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくのかという疑問に明確に答えていただきました。



参加者からは、「人とのつながりを大切に活動を進めていくことを肝に銘じて取り組んでいきたいと思います。」「学校の既存の行事や活動を見直し、地域づくりという視点で地域学校協働活動を考えることが大切だと学ばさせていただきました。」という感想が寄せられました。これからコミュニティ・スクールと地域学校協働活動をさらに進めていくために方向性を示していただき、自信をもって取り組んでいくための勇気をいただいた研修会でした。

令和2年度山形県スポーツ少年団置賜地区協議会指導者・育成母集団研修会 令和2年度山形県スポーツ少年団置賜地区協議会運動適性テストII評価者研修会 令和2年度川西町スポーツ少年団育成会・役員・指導者合同研修会

11月8日(日)川西町民総合体育館にて、標記の研修会を開催しました。スポーツ少年団関係者62名の参加をいただき「スポーツ少年団運動適性テストII」についての実技研修会を行いました。

運動適性テストIIでは、動きの「量」に加えて、動きの「質」を評価する観察評価が加わりました。

スポーツ少年団の皆様からは、「どのような動きをしているかといった『質』にも目を向けてあげることで、子どもたちのやる気を引き出し、もっと身体を動かしたいという動機付けにできる」という熱い思いを拝聴しました。

「我々は学ぶことをやめたときに、教えることをやめなければならない」(元サッカーフランス代表監督ロジェ・ルメール氏)という言葉もあるように、これからも「学びの場」を大切にしていきたいと思えます。

次年度も多くの方々のご参加をお待ちしております。



※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課Tel. 0238(88)8242】